

シンガポール国立大学ビジネススクールの DX 講座を支援

シンガポール国立大学（The National University of Singapore : NUS）ビジネススクールは、世界でも屈指のビジネススクールであり、アジア発のビジネスを世界的に成功させる、あるいはアジアにおけるビジネスを成功に導くための知見を学ぶため、優秀な学生が多く集まっています。その MBA コースで「企業戦略」の講座を担当する Siew Heng Quah（スー・ヘン・クワ）教授は、「デジタル企業での戦略主導」の授業において、近年のビジネス環境を変革するような技術に焦点を当て、経営者がデジタル時代に果たすべき戦略上の役割や自らの企業を変革していくための枠組みやツールを紹介しています。

この度、三菱電機株式会社 FA システム事業本部の Digital Manufacturing アーキテクト、杉山素（すぎやま はじめ）が、クワ教授から同講座のオンライン授業に招かれ、三菱電機が 20 年近くにわたって推進するデジタル製造「e-F@ctory」の知見・経験について 30 名超の学生たちに説明しました。



シンガポール国立大学ビジネススクールのオンライン授業で、三菱電機の杉山素がデジタル製造「e-F@ctory」の知見・経験を紹介

このオンライン授業では、デジタル時代の三菱電機の経験を通じて、戦略的デジタルトランスフォーメーション（DX）における判断要素や付加価値創出のヒントを紹介するとともに、次世代の経営者たちから多数の質問に答え、活発な議論が行われました。



戦略的 DX における判断要素や付加価値創出のヒントを紹介した三菱電機の杉山素

<クワ教授のコメント>

杉山氏の示唆は豊富な実体験に基づいており、学生たちにとって新鮮で、従来の DX の常識を覆すような内容でした。昨今、DX はすべての企業にとって不可欠であるものの、その成功のためには「DX は単なるプロジェクトではなく、経営層が自ら導くべき過程なのである」という点をしっかりと理解しておく必要があります。杉山氏の説明はその点が明確でした。

<参加した学生 (Kavin Mahtani さん) のコメント>

具体的な経験に裏打ちされた DX の知見は非常に貴重で、特に文化的な背景の理解や組織の教育に関する指摘が興味深かったです。



シンガポール国立大学ビジネススクールで「企業戦略」講座を担当するクワ教授

-/END/-

本資料は英語の原文 (8月25日発表) を簡易的に翻訳したものです。